

第5回四日市市行財政改革推進会議（概要）

日 時：平成14年1月25日（金） 午後2時45～4時45分

場 所：市役所11階 第1委員会室

出席者：委 員……伊藤 岩崎 稲沢 大矢知 加藤 藤田 渡辺 （敬称略）

山下助役、藤島助役

事務局……川北総務部長、山口行財政改革推進室長、伊藤補佐、太田、城田

財政部……小坂財務課長、倭補佐

1 開 会

会長あいさつ

- ・三つの研究会の報告をベースに本年度の報告書をまとめていきたい。

2 審議事項

[1] 各研究会からの中間報告

(1) 地区市民センター研究会

- ・市町村合併との動向を踏まえた地区市民センターのあり方の検討。
- ・地区市民センターの現状、費用対効果、地域にとっての必要性を住民意識の中からの検証。
- ・地域の各種団体とのかかわりについて住民の意識改革

以上の観点から、提言を行なう。

(2) 希望の家、寿楽園研究会

- ・子供たちの人権、子供たちへの愛情などの観点から「希望の家」の検討を先行。この検討手法などを「寿楽園」にもあてはめて検討。
- ・自治体の役割の明確化（「個人の処遇の改善」と「行政サービス水準」）
- ・子供の人権、愛情等ソフト面の充実、他施設の活用の検討

以上の観点から、提言を行なう。

(3) 幼稚園保育園研究会

- ・基準を明確にした官民の役割分担の推進
- ・試行的に幼児の相互体験を伴う幼保の一体化の検討。
- ・民営化については、社会福祉法人、学校教育法人をベースに統廃合、一体化を進めていく中でのゆるやかな移行の検討。

以上の観点から、提言を行なう。

[2] 財政問題について

- ・当面の財源不足への対応として、職員の努力で出来るもの、住民に負担を求めるもの、市民要望を考慮するものの三つがある。まず、行政評価などを活用して、努力目標を設定し、中期財政対策を考えていくことが必要である。
- ・将来のある時期の努力目標を示して、市民に説明をすべきである。

・市民の参画を積極的に取り入れ、将来的に自主財源の検討も行うべき。

3 次回会議について

平成14年3月14日(木) 午後1時30分～ 7階部長会議室
平成13年度報告書の協議

4 閉 会